

試験研究の企画調整

外城和幸ほか企画研修部全員

【目的】

本県水産業の計画的・効果的な試験研究を推進するため、課題設定、進行管理、成果の普及など、総合的な企画調整を行う。

【事業内容】

- 1 試験研究ニーズ等の把握
- 2 試験研究の総合的な企画調整
- 3 試験研究の進行管理
- 4 研究成果の広報・普及
- 5 国内外の技術交流・研修の調整

【21年度の実績】

1 試験研究ニーズ等の把握

1) 図書文献の収集整理

当センターに配布のあった各研究機関等からの事業報告書や研究報告書等の文献を整理し、図書室に保管するとともに、データベースに登録した（毎週1回程度）。

2) ネット情報の収集整理

随時、インターネット上にある試験研究関連情報等を整理し、研究員等に周知した。

3) 現地応用講座・視察研究受入等によるニーズ把握

漁業研修推進事業で実施した現地応用講座（移動水技センター）や当センターにおける視察研修の受入時に、漁業者等からの試験研究に対するニーズの把握に努めた。

2 試験研究の総合的な企画調整

1) 水産総合研究センターとの連携等

- ・(独)水産総合研究センター主催のブロック別水産業試験研究推進会議の本会議及び各分会（西海区ブロック、中央ブロック）や専門分野別水産業試験研究推進会議（水産利用加工等）への出席等についての調整を図った。
- ・11課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

表1 (独)水産総合研究センター主催の会議等への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
11月10～11日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議 漁業資源・海洋環境部会、地域増養殖研究部会、 有明海・八代海研究部会	長崎市	漁場環境部長
11月12～13日	栽培漁業関係研究開発推進特別部会 栽培漁業九州西ブロック会議	那覇市	担当1名

11月18～20日	水産利用関係研究開発推進会議及び利用加工技術部会研究会（品質安全研究会・資源利用研究会）	横浜市	安全食品部長 他担当1名
11月18日	水産増養殖関係研究開発推進特別部会 養殖産業部会	伊勢市	種苗開発部長 他担当1名
12月1日	水産増養殖関係研究開発推進特別部会 魚病部会	伊勢市	担当1名
12月1～2日	中央ブロック水産業関係研究開発推進会議	横浜市	所長
12月8～9日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議	福岡市	副所長
12月9～10日	漁場環境保全関係研究開発推進特別部会 赤潮・貝毒部会	広島市	担当1名

2) 他県との連携等

①全国水産試験場長会及び全国内水面水産試験場長会

平成22年1月29日に横浜市で開催された2つの会の通常総会に出席した。

②九州・山口ブロック水産試験場長会

場長会（2回）及び各分科会に出席した。なお、第2回の場長会、魚病分科会、海面増殖分科会は、本県が担当県となり指宿市等で開催した。

表2 九州・山口ブロック水産試験場長会への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
5月27～28日	第1回場長会	宮崎市	所長
7月30日	磯焼け・藻場造成分科会	福岡市	担当2名
8月25～26日	第2回場長会	指宿市	所長他2名
10月29～30日	漁業分科会	別府市	担当1名
10月29～30日	利用加工分科会	下関市	担当1名
10月29～30日	漁場環境分科会	〃	担当1名
11月19～20日	魚病分科会	鹿児島市	担当2名
2月5～6日	内水面分科会	小林市	担当2名
2月16～17日	海面増殖分科会	鹿児島市	担当部長他6名

③その他の他県等との連携会議等

他県等との連携会議に担当等が出席した。なお、西日本種苗生産機関連絡協議会魚類分科会、南西諸島栽培漁業技術連絡協議会及び技術部会は本県が担当県となり、鹿児島市で開始した。

表3 その他の他県との連携会議等

期 日	会 議 名	開催地	出席者
10月8～9日	西日本種苗生産機関連絡協議会魚類分科会	鹿児島市	所長他6名
1月21～22日	西日本種苗生産機関連絡協議会	長崎市	所長
2月14～15日	南中九州・西四国水族防疫会議	佐伯市	担当2名
2月23～24日	南西諸島栽培漁業技術連絡協議会及び技術部会	鹿児島市	所長他3名

④他県との共同・連携研究

13 課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

3) 大学との連携等

①水産研究交流セミナー（平成13年度から毎年1回実施）

鹿児島大学水産学部との連携を図るため「水産研究交流セミナー」を開催した。

- ・日 時：平成21年6月19日（金） 15:00～17:00
- ・開催場所：鹿児島大学水産学部大会議室
- ・出席者：鹿児島大学水産学部24名，当センター24名
- ・内 容：水技センターと水産学部間の共同・連携研究活動の紹介及び情報・意見交換

②大学との共同・連携研究

9 大学，12 課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

4) 各種競争的資金にかかる情報収集・管理

各種資金の説明会，情報交換会等に参加し，所員へ伝達し，競争的資金の応募等を促進した。

表4 平成21年度に新たに採択された競争的資金

制 度 名	採 択 課 題
水産庁（企画競争） 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業	赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 （八代海・鹿児島湾における有害赤潮拡大防止）
水産庁（企画競争） 持続的養殖生産供給推進事業 （低コスト飼料・効率的生産手法開発事業）	持続的養殖生産供給推進事業 （低コスト飼料・効率的生産手法開発事業）
農林水産省消費安全局（企画競争） 養殖衛生対策推進事業	養殖ブリの抗酸菌症に関する研究
農林水産省（農林水産技術会議） 新たな農林水産政策を推進する実用技術 開発事業（研究領域設定型）	通電加熱技術の導入による水産食品の加熱及び殺菌技術の高度化

3 試験研究の進行管理

試験研究の進行管理，評価等を行うため4月に進行管理，10月に中間進行管理を行うための所内会議を開催した。

また，各部ごとに業務検討会（4～5月開催）を開催した。

4 研究成果の広報・普及

1) 漁業情報システムによる研究成果の広報・普及

漁業情報システムの情報発信機能（ホームページ等）を活用し，研究成果の広報・普及を図った。

※ホームページの掲載回数

「研究の動き」：76回，「新着情報（更新）」：231回

2) 漁業研修の推進

各種漁業研修を通じ研究成果の広報・普及を図った。（「漁業研修推進事業」参照）

3) 機関誌「うしお」の発行

研究成果の広報・普及を図るため機関誌「うしお」を4回(5, 8, 11, 2月)発行した。(発行部数: 250部/回)

4) 事業報告書の発行

平成20年度版事業報告書を9月にホームページに掲載した(21年度より印刷製本休止)。

5) 研究報告会の開催

研究成果の広報・普及を図るため研究報告会を開催した。

- ・期 日:平成22年2月2日(火)
- ・場 所:かごしま県民交流センター大研修室第1及び中研修室第1
- ・内 容:

①ポスター発表

報 告 課 題	報 告 者
鹿児島県で漁獲されるトビウオの種類	資源管理部 主任研究員 立石章治
奄美北部海域におけるキンメダイ属3種の漁獲水深及び水温の比較	資源管理部 主任研究員 宍道弘敏
マチ類の標識放流技術と放流再捕記録	
三陸沖春季ビンナガ漁場の予測手法の検討	資源管理部 主任研究員 榎 純一郎
本年度, 八代海で発生したシャトネラ赤潮の発生要因	漁場環境部 主任研究員 西 広海 " 田原義雄
鹿児島水産高校とともに行った藻場回復の取り組み	漁場環境部 研究専門員 徳永成光, " 猪狩忠光, " 吉満 敏
養殖ブリ類を対象とした魚粉低減配合飼料の給餌試験	安全食品部 主任研究員 前野幸二
スジアラの種苗生産における初期減耗対策	種苗開発部 主任研究員 神野公広

②口頭報告

報 告 課 題	報 告 書
マチ類資源回復計画の取り組み効果	資源管理部 主任研究員 宍道弘敏
笠沙地区で実施している藻場造成の取り組み	漁場環境部 研究専門員 徳永成光
ハダムシ症防除に関する研究 ～工学的手法を用いた対策について～	安全食品部 研 究 員 村瀬拓也
サバヒー種苗生産技術開発試験の現状と課題	種苗開発部 主任研究員 柳 宗悦

6) その他

表5 特許等の出願状況(H22.3.31現在)

種 別	出願状況等	件 数
特 許 権	出 願 中	1 件
	審査請求中	2 件
意 匠 権	登 録 済 み	2 件
計		5 件

5 国内外の技術交流・研修の調整等

国内外からの研修視察を受け入れるとともに、必要に応じて当センター職員等の講師について調整を行った。

なお、平成21年9月1日から11日の期間4名（コロンビア共和国）、平成21年11月12日から13日
期間1名（トルコ共和国）を海外からの研修生として受け入れた。（JICAの研修）

表6 研修視察等の受入実績

区 分	受入団体数	受入人数
研修視察	4 0	6 6 2
海外研修生	6	1 1 3
インターンシップ	2	8
一般見学	6 2	1, 3 8 1
合 計	1 0 2	2, 0 4 3

表7 研修視察等の受入実績の推移

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21
受入人数	4, 648	2, 880	2, 338	2, 359	1, 932	2, 043